

解説

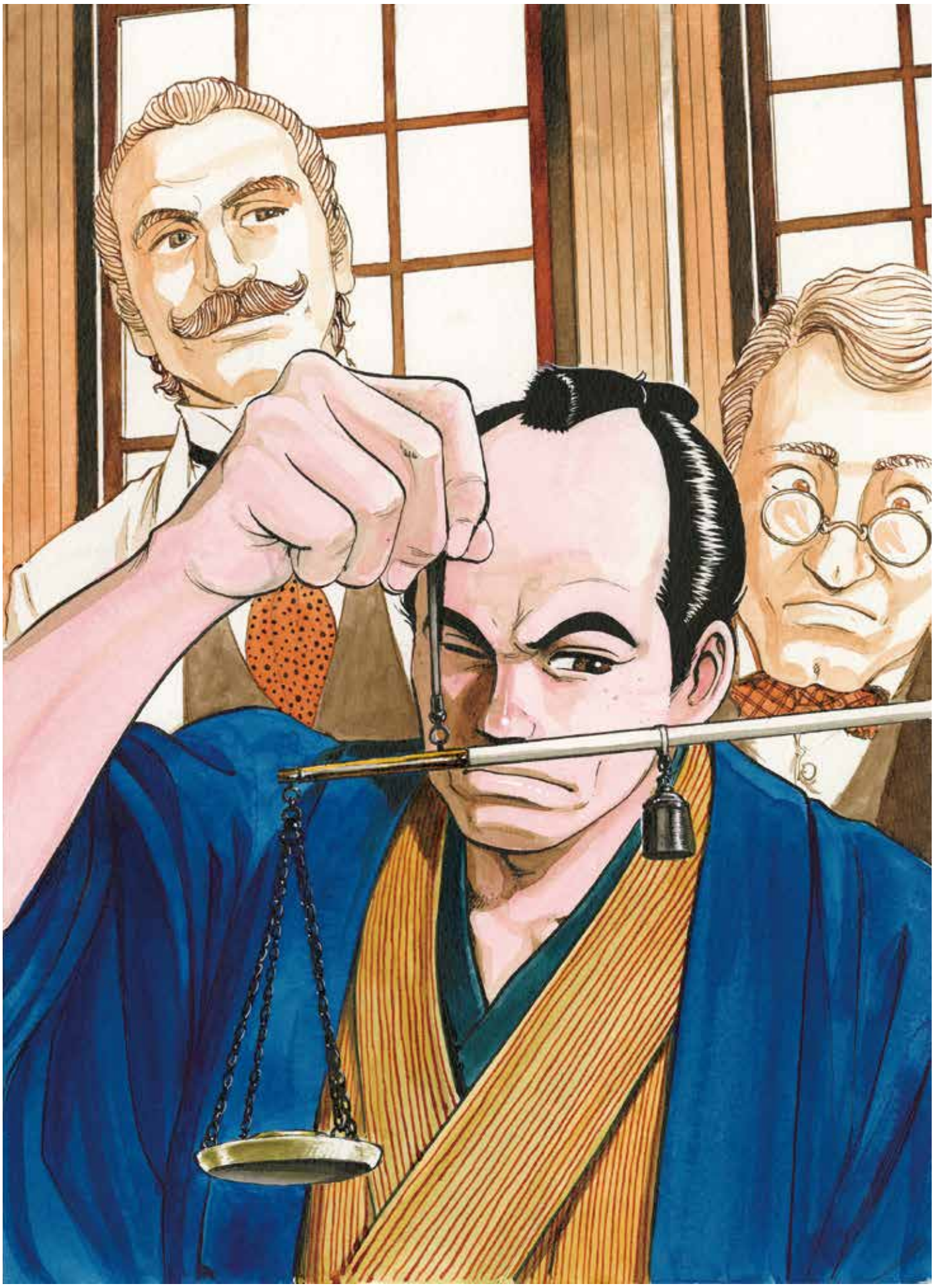
権田村名主佐藤藤七は遣米使節目付の小栗忠順に随行して渡米、地球一周で帰国した後に見聞体験を記録した『渡海日記』を残した。日記に描かれた汽車ごと川を渡すフェリーなどの挿絵は当時の貴重な資料となっている。

すいこうのとうしちとかいにっき

随行の佐藤藤七渡海日記

く

苦心した　通貨分析
フィラデルフィア



解説

忠順はフィラデルフィア造幣局でドル金貨と小判金貨の分析は小片でなく全量の分析を主張し「ノーと言った最初の日本人」と言われる。分析の結果、アメリカ側がドル金貨とほぼ同じ含量の小判金貨を、三分の一のドル銀貨で入手している不公平な実態を証明した。しかしそれ以上の通貨交換比率改訂の交渉は使節に交渉権限がないなどで、実現しなかった。ソロバンで素早く計算し、精密な天秤秤で驚かせたのはこのときのこと。